

## 仕 様 書 B (案)

南信工科短期大学校

項 目	内 容		
コ ー ス 番 号	N 2 - 0 6		
訓 練 種 類	知識習得コース（デジタル分野訓練特例コース／WEBデザイン）		
訓 練 科 名	P C + W e b クリエイター科(仮)		
訓 練 期 間	3か月		
定 員	15名		
訓練実施地区	伊那公共職業安定所管内		
募 集 時 期	令和8年7月16日(木)～令和8年 9月16日(水)	選考日	令和8年9月28日(月)
実 施 時 期	令和8年10月8日(木)～令和9年1月7日(木)		
受 講 対 象 者	パソコン経験者で、Webサイト構築の基礎知識等やIT活用する上で前提となる総合的な知識などの習得に意欲がある本訓練の受講対象となる求職者。		
訓 練 目 標	Webサイト構築の基礎知識等やIT活用する上で前提となる総合的な知識などを習得し、早期安定就職を目指す。		
コース目標資格	Webクリエイター能力検定資格（エキスパート）、および日商PC検定（文書作成・データ活用）3級と同等の資格を目指す。		
訓 練 内 容	訓練目標や目標資格の取得に必要な教科及び時間を満たし、就職に繋がる効果的な内容とする。		
訓 練 時 間	訓練実施日及び訓練設定時間は、仕様書A6(4)、総訓練設定時間及び訓練期間は仕様書A4(知識等習得コース)によること。 やむを得ずその他の休日等を設ける場合は、南信工科短期大学校と協議すること。		
特 記 事 項	<p>&lt;コースの仕様&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訓練科名は、応募者を引きつける魅力ある名称とすること。</li> <li>・ 就職時に必要なビジネスマナー及びコミュニケーション能力向上の演習をカリキュラムに入れること。</li> <li>・ 目標資格の難易度や実用性について、受講生が理解できるよう伝え、目標意識・達成感を感じることができるよう指導すること。</li> </ul> <p>&lt;その他の委託条件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕様書A10に定める就職指導及び就職支援等を実施すること。</li> <li>・ 訓練期間終了時に修了に値すると認められなくなることが予測される受講生について、当該受講生を補講により修了させることができる場合は、訓練期間中に補講を原則実施すること。</li> <li>・ 委託費等の支払い条件及び上限金額については、全て委託費に係る事項を参照のこと。</li> <li>・ 受講生が公共職業安定所（ハローワーク）で就職相談する日（訓練時間の短い日又は休みの日）を月1回程度設定し、また設定するに当たっては事前にハローワークと相談の上で取り決めるように努めること、及び設定した日を受講生に周知すること。</li> <li>・ 応募時に、委託費に係る事項5イ①で定める書面を提出し、要件を満たしていることが確認できれば、DX 推進スキル標準コースとして所定のデジタル訓練促進費の対象とできるが、デジタル資格コースのデジタル訓練促進費が支給されない場合に限り支給する。</li> </ul>		

## 仕 様 書 B (案)

南信工科短期大学校

項 目	内 容		
コ ー ス 番 号	N 2—0 7		
訓 練 種 類	知識習得コース（デジタル分野訓練特例コース／D X 推進スキル）		
訓 練 科 名	W e b + P C 基礎科（仮）		
訓 練 期 間	3 か月		
定 員	1 5 名		
訓 練 実 施 地 区	伊那公共職業安定所管内		
募 集 時 期	令和 8 年 9 月 25 日(金)～令和 8 年 11 月 25 日(水)	選考日	令和 8 年 1 2 月 2 日(水)
実 施 時 期	令和 8 年 1 2 月 1 6 日(水)～令和 9 年 3 月 1 5 日(月)		
受 講 対 象 者	パソコン経験者で、アプリケーション活用やプログラミングによるW e b ページの作成方法等の習得に意欲がある本訓練の受講対象となる求職者		
訓 練 目 標	幅広い職種に対応する基礎的なパソコン操作やW e b サイト構築の基礎知識などを習得し、事務系職種などへの早期就職を目指す。		
目 標 資 格	W E B クリエイター能力検定（スタンダード）及び日商 P C 検定（文書作成・データ活用） 3 級と同等の資格。		
訓 練 内 容	訓練目標や目標資格の取得に必要な教科及び時間を満たし、就職に繋がる効果的な内容とする。		
訓 練 時 間	訓練実施日及び訓練設定時間は、仕様書 A 6（4）、総訓練設定時間及び訓練期間は仕様書 A 4（知識等習得コース）によること。 やむを得ずその他の休日等を設ける場合は、南信工科短期大学校と協議すること。		
特 記 事 項	<p>&lt;コースの仕様&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訓練科名は、応募者を引きつける魅力ある名称をつけること。</li> <li>・ 就職時に必要なビジネスマナー（心構え、挨拶、態度、コミュニケーション等）の能力向上演習をカリキュラムに入れること。</li> <li>・ 目標資格の難易度や実用性について受講生が理解できるよう伝え、目標意識・達成感を感じることができるよう指導すること。</li> </ul> <p>&lt;その他の委託条件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕様書 A 10 に定める就職指導及び就職支援等を実施すること。</li> <li>・ 訓練期間終了時に修了に値すると認められなくなることが予測される受講生について、当該受講生を補講により修了させることができる場合は、訓練期間中に補講を原則実施すること。</li> <li>・ 委託費等の支払い条件及び上限金額については、全て委託費に係る事項を参照のこと。</li> <li>・ 受講生が公共職業安定所（ハローワーク）で就職相談する日（訓練時間の短い日又は休みの日）を月 1 回程度設定し、また設定するに当たっては事前にハローワークと相談の上で取り決めるように努めること、及び設定した日を受講生に周知すること。</li> <li>・ 応募時に、委託費に係る事項 5 イ①で定める書面を提出し、要件を満たしていることが確認できれば、D X 推進スキル標準コースとして所定のデジタル訓練促進費の対象とできるが、デジタル資格コースのデジタル訓練促進費が支給されない場合に限り支給する。</li> </ul>		